TOTO

TOTO株式会社

【修理を依頼する前に「故障かな？」（26～28ページ）をご確認ください。】

修理・取扱いのご相談は
まずお求めの取付店・販売店へ

取付店	〒
	印
販売店	電話　　　　－

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

商品のお問い合せは	TOTO（株）お客様相談室へ TEL 0120-03-1010 FAX 0120-09-1010 受付時間：平日 9:00-18:00 土･日･祝日 10:00-18:00 （夏期休暇･年末年始を除く）
修理のご用命は	TOTOメンテナンス（株） 修理受付センターへ TEL 0120-1010-05 FAX 0120-1010-02 受　付：年中無休 受付時間：関東･甲信越地区 8:00-20:00 上記以外の地区 9:00-20:00 訪問修理：年中無休（一部地域を除く） 営業時間： 9:00-18:00
補修用性能部品のご購入は	TOTOメンテナンス（株） TOTOパーツセンターへ TEL 0120-8282-55 FAX 0120-8272-99 受付時間：平日 9:00-18:00 土･日･祝日 10:00-18:00 （夏期休暇･年末年始を除く）

インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

RD06117A　2007.3

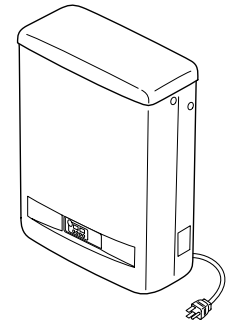
TOTO

取扱説明書 保証書付

工事店様へのお願い　保証書に、貴店名ならびにお取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。

小型電気温水器

湯ぽっと REDシリーズ

RED12型、RED20型、RED30型

●このたびは、TOTO 湯ぽっとをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見ることができるように必ず保管してください。

もくじ

お使いになる前に

つかいかた

お手入れについて

故障かな？

お使いになる前に

安全上の注意

●●●●●　安全のために必ずお守りください　●●●●●

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるように必ず保管してください。
転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この「取扱説明書」を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しください。
この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味はつぎのようになっています。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

下に示す表示は「取扱説明書」や製品に表示して、お客様が安全に正しく製品をお使いいただくためのものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

表示	意味
⃠	行ってはいけない「禁止」の内容です。
(分解禁止)	分解しないでください。
❗	必ず実行していただく「強制」の内容です。
(アース)	必ずアース線を接続してください。
(プラグを抜く)	電源プラグをコンセントから抜いてください。
(水場禁止)	風呂･シャワーなど水場では使用しないでください。
(接触禁止)	接触しないでください。
(ぬれ手禁止)	ぬれた手でさわらないでください。

お使いになる前に

⚠警告

分解禁止	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない （感電や火災などの原因になります。）
水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しない （感電や故障の原因になります。）
接触禁止	排水時に熱湯が出ることがあるため触らない また、連結管も高温になるので触らない （やけどをするおそれがあります。）
ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない （感電の原因になります。）
禁　止	中ふたに取り付けている逆止弁（P7参照）を取り外さない （蒸気が漏れて火災や故障の原因になります。）
	機器本体に水をかけない （感電や火災などの原因になります。）
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わない （火災の原因になります。）
	指定する電源以外では使用しない（火災の原因となります。）
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない （たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。）
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない（感電・火災の原因になります。）
	電源コードをたばねたまま使わない（火災の原因になります。）
アース接続	アース（D種接地）工事がされていることを確認する （アース工事がされていないと故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。） 取り付けられていない場合は、必ずお取付工事店または、販売店に依頼して取り付けてください。
プラグを抜く	お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く （感電の原因になります。）

お使いになる前に

⚠警告

必ず実行	コードを曲げたり、重いものをのせるなど乱暴に扱わない （火災・感電の原因になります。）
	漏電遮断器を取り付ける （感電や火災の原因になります。）
	電源プラグの刃などについたホコリは、1ヶ月に1回程度定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む （電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。） 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く （コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。）
	電源コードを折り曲げたり、重いものをのせるなど乱暴に扱わない （火災、感電の原因になります。）

⚠注意

禁　止	水道水以外は使用しない （井戸水などを使用すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。）
	タンクが空の時は、電源プラグをコンセントに差し込まない （空焚きとなり故障・事故の原因になります。）
	機器内に長期間たまった水は、飲料用に用いない （水質が変化した場合、下痢、腹痛など体をこわすおそれがあります。）
	製品に強い力や衝撃を与えない （故障や水漏れの原因になります。）
	連結管・接続配管やコードなどには無理な力や衝撃を与えない （水漏れ・漏電の原因になります。）
	ヤカンやコンロの蒸気や熱気がかかる場所には設置しない （感電や故障の原因になります。）
	自動給排水機能付きの場合は、排水金具（オーバーフロー口）から湯が出ることがあるため自動給排水機能を設定した際は、シンクなどにふたをして排水経路をふさがない （シンクから水があふれ家財などを汚したり、腐らせるおそれがあります。）

⚠注 意

必ず実行

飲料用として使用する場合は、80℃以上で使用する
（水質が変化した場合、下痢、腹痛など体をこわす
おそれがあります。）

フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりフィルターふたを緩めずに、
止水栓を閉めてから行う
（水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。）

湯を出しはじめる時は、必ず水を出しながら湯を出す
（湯だけを出すと、熱湯でやけどをしたり、シンクなどが破損するおそれがあります。）
※シングルレバー混合栓の場合は、温調ハンドルを水側にして吐水しながら湯側に回し、
温度を調節してください。また、熱湯用単水栓の場合は、ハンドルをゆっくり開けて
ください。

熱湯用単水栓のスパウトを回すときは、断熱キャップを持って回す
（やけどをするおそれがあります。）

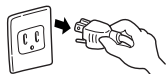
タンク内の水を抜くときは、タンク内の湯が水になっていることを確かめてから行う
（やけどをするおそれがあります。）

熱湯を排水するときは、水と混ぜながら行う
（湯だけで排水すると排水管やシンクなどが破損するおそれがあります。）

月に1回、フィルターの点検・清掃を行う（P22参照）
（フィルターが詰まると出湯量が減少したり、機器の故障の原因になります。）

凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いて、タンク内の
湯を抜くかまたは、タイマーで連続運転を行う（P24参照）
（凍結により破損し、水漏れするおそれがあります。）

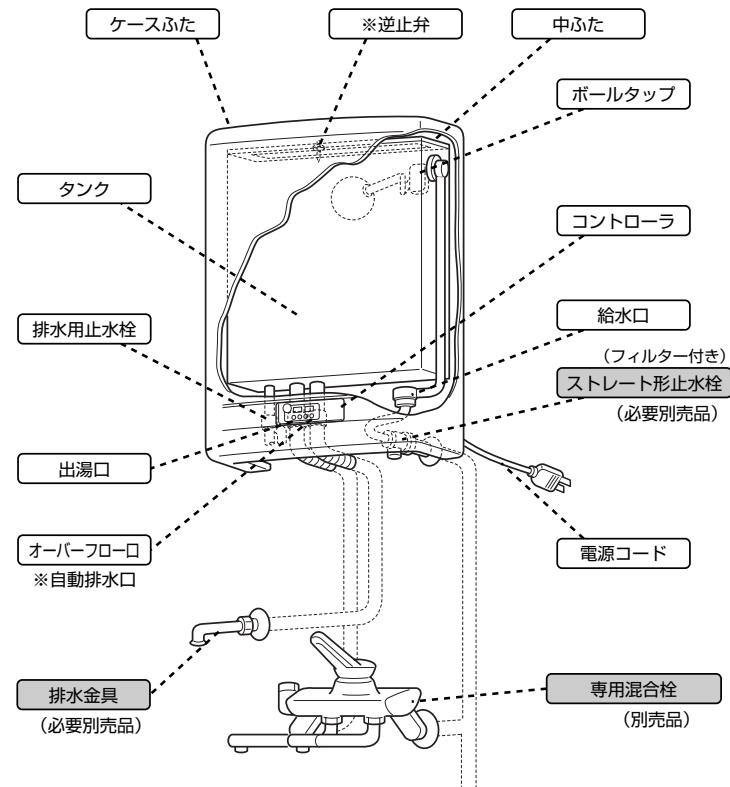
プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
（思わぬ事故の原因になります。）

雷が発生しているときは、電源プラグを抜く
（故障の原因になります。）

各部のなまえ（1）

ケースふた
※逆止弁
中ふた
ボールタップ
タンク
コントローラ
排水用止水栓
給水口
（フィルター付き）
ストレート形止水栓
（必要別売品）
出湯口
オーバーフロー口
※自動排水口
電源コード
排水金具
（必要別売品）
専用混合栓
（別売品）

（※）自動給排水機能付きのみ

お使いになる前に

各部のなまえ（2）

●コントローラ

設定内容・チェックサイン表示画面

●設定温度及び設定内容を表示します。（下表を参照ください）
●故障・異常時のチェックサインを表示します。
（チェックサインの表示内容は、P26を参照ください）

表示	内容
98	設定温度の表示です。（98℃に設定している場合） ※60℃～95℃までは5℃刻み、95℃の次は98℃のみ設定可能です。
- -	自動運転中のタイマーOFF時間帯の表示です。
H	休日設定日に表示します。
SP	臨時休日設定日に表示します。
CL	自動もしくは手動給排水中（お湯入替え中）に表示します。

現在温度表示画面

●現在温度を表示します。

『開始』、『終了』ランプ

●自動運転の開始時刻、終了時刻を設定する際に点灯します。

『再沸き上げ』スイッチ・ランプ

●一時的に沸き上げを行う際に「入」にしてください。ランプが点灯します。（P12参照）
※スイッチ「入」後、沸き上げを行い、約2時間保温します。

『手動』スイッチ・ランプ

●「入」にするとランプが点灯し、タンク内の湯の入替えを行います。（P20参照）
※動作中「切」にすると排水、給水を止め、元の状態に戻ります。

『自動』スイッチ・ランプ

●スイッチを押すごとに自動給排水（自動お湯入替え）機能が下記のように設定されます。（P20参照）

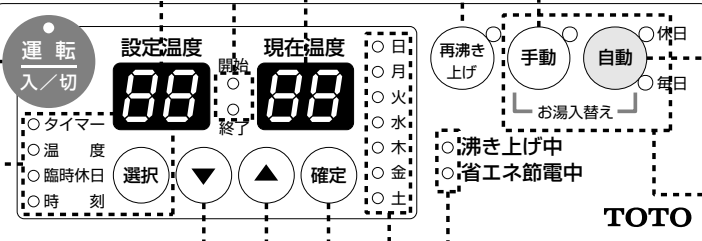
①自動給排水休日設定（休日ランプ点灯）
②自動給排水毎日設定（毎日ランプ点灯）
③自動給排水設定解除（ランプ消灯）

『運転』スイッチ・ランプ

●運転を開始する際、「入」にしてください。ランプが点灯します。（P12参照）

『選択』スイッチ・ランプ

●設定内容を切替える際に使用します。
●設定内容をランプが点灯してお知らせします。

ランプ	内容
タイマー	タイマー時刻設定の際に点灯します。（P15参照）
温度	温度を設定（変更）する際に点灯します。（P18参照）
臨時休日	臨時休日を設定（変更）する際に点灯します。（P17参照）
時刻	現在曜日・現在時刻を設定する際に点灯します。（P14参照）
全点灯	おまかせ節電機能を設定（変更）する際に点灯します。（P19参照）

『▼』、『▲』スイッチ

●設定内容を調節する際に使用します。
『▼』スイッチ：曜日／時／分を戻す。
『▲』スイッチ：曜日／時／分を進める。

『曜日』ランプ

●現在曜日を表示します。
●自動運転の設定曜日を表示します。

『沸き上げ中』ランプ

●沸き上げ中にランプが点灯します。
沸き上げ完了後、消灯します。

『確定』スイッチ

●設定内容を確定する際に使用します。

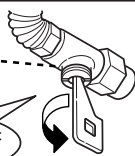
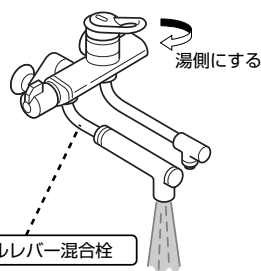
『省エネ節電中』ランプ

●おまかせ節電機能が作動し、省エネ節電している際に点灯します。

お使いになる前に

タンクへの給水

● つぎの手順でタンクへの給水を行ってください。

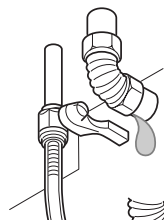
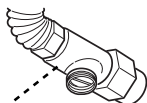
1 止水栓を開けてください。

2 シングルレバー混合栓のレバーを湯側いっぱいにしてください。

3 水が出はじめるとタンクは満水です。

※配管やタンク内の汚れを取り除くため、5～6分程度流してください。

ご確認ください

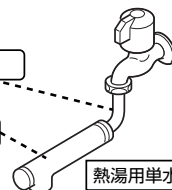
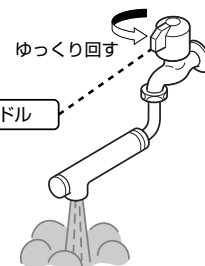
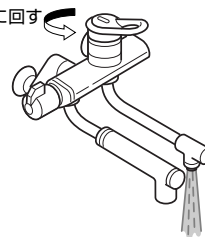
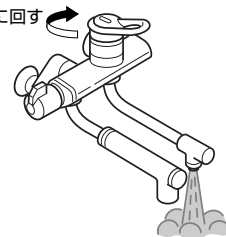
● タンクを満水にした後、つぎのことを確認してください。

1 電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？

※タンクに水が入っていないとチェックサイン（E4）が表示されます。(P26参照)
その場合は、上述の手順でタンクへ給水してください。

2 配管接続部などからの水漏れはありませんか？
(給湯ハンドルを止めてから確認してください)

3 フィルター付きの止水栓が取り付けられていますか？
(異物などが混入し、機器の故障の原因になります)
※フィルター付きの止水栓が取り付けられていない場合は、お取付店にご連絡ください。

使用上の注意

● やけどのおそれがありますのでつぎの内容に注意してお使いください。

1 スパウトを回すときは、断熱キャップ部を持って回してください。

2 ハンドルは、ゆっくり開けてください。

3 混合栓から湯を出しはじめるときは、必ず水を出しながら湯を出すようにしてください。

湯を出しはじめる時は、必ず水を出しながら湯を出す
（湯だけを出すと、熱湯でやけどをしたり、シンクなどが破損するおそれがあります。）

高地での使用について

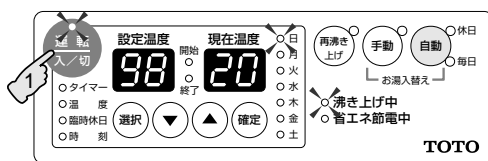
●高地では、沸点が低くなるため、初期の設定（工場出荷時：98℃設定）では、沸とうすることがあります。
このような場合は、設定温度を下げてご使用ください。
※標高1500mでの沸点は、93℃です。

自動運転のしかた

● 自動運転は、曜日・時間毎にあらかじめ設定された内容で運転を行います。
通常使用する際、『運転』スイッチは、常に「入」の状態でお使いください。

操作前に現在曜日・現在時刻及び自動運転の設定内容を確認してください。（P13参照）

自動運転をはじめる

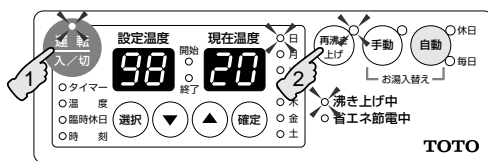
1 『運転』スイッチを押す。

※『運転』ランプが点灯し、設定温度、現在温度、現在曜日（ランプ）を表示します。
※沸き上げ中は、『沸き上げ中』ランプが点灯し、沸き上げ完了後、消灯します。
※自動運転を中止したい時は、再度『運転』スイッチを押してください。

『運転』スイッチを押すとタイマーOFF時間帯でも沸き上げを開始します。
その場合は、つぎの日（午前0時）からタイマーの設定時刻通り運転を行います。

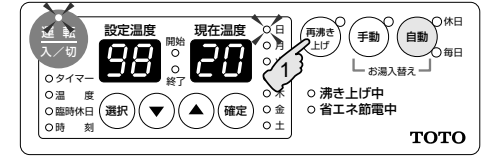
再沸き上げ運転のしかた

● 再沸き上げ運転は、自動運転の設定の内容に関係なく、設定温度まで一時的に沸き上げます。
休日設定日やタイマーOFF時間帯にお使いください。

再沸き上げ運転をはじめる

1 『運転』スイッチを押す。
※『運転』ランプが点灯します。

2 『再沸き上げ』スイッチを押す。
※『再沸き上げ』ランプが点灯します。
※沸き上げ中は、『沸き上げ中』ランプが点灯し、沸き上げ完了後、消灯します。
※2時間後、自動的に自動運転に戻ります。

再沸き上げ運転を中止する場合

1 もう１度、
『再沸き上げ』スイッチを押す。

※『再沸き上げ』ランプが消灯し、自動運転に戻ります。

自動運転設定内容の確認のしかた

● 工場出荷時の自動運転の初期設定は、以下のようになっています。
・タイマー設定時刻（月曜日～土曜日）：6：30～18：30（日曜日は、休日設定）
・設定温度：98℃　・臨時休日：設定なし　おまかせ節電機能：ONに設定
・自動給排水機能（自動給排水機能付きのみ）：休日（日曜日）に設定
● つぎの手順で自動運転の内容を確認してください。

開始時刻、終了時刻を確認する

1 『運転』スイッチを押す。
※『運転』ランプが点灯します。

2 『選択』スイッチを押す。
※『タイマー』ランプが点灯し、日曜日の開始、終了時刻を表示します。
※『▲』または、『▼』スイッチ押すと『曜日』ランプが移動します。

設定温度を確認する

3 『選択』スイッチを押す。
※『温度』ランプが点灯し、設定温度と現在温度を表示します。

臨時休日の設定を確認する

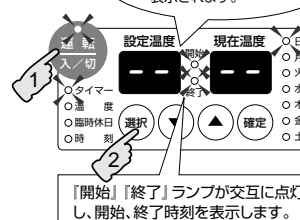
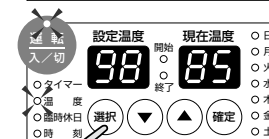
4 『選択』スイッチを押す。
※『臨時休日』ランプが点灯し、臨時休日設定日の『曜日』ランプが点灯します。
（右図は、月曜日が臨時休日の場合）

現在時刻・現在曜日を確認する

5 『選択』スイッチを押す。
※『時刻』ランプが点灯し、現在時刻を表示します。
※『曜日』ランプが点灯し、現在曜日を表示します。

おまかせ節電機能を確認する

6 『選択』スイッチを押す。
※モードランプが全て点灯し、設定ON／OFFを表示します。（ON：『AU On』、OFF：『AU −−』）
※再度『選択』スイッチを押すと自動運転に戻ります。

※90秒間スイッチ操作がなければ自動運転に戻ります。

現在曜日・現在時刻の設定のしかた

● 曜日、時刻は、工場出荷時に設定しています。
● 時刻が合っていない場合は、つぎの手順で設定してください。

設定可能な状態にする

1 『運転』スイッチを押し、運転を停止させる。
※『運転』ランプが消灯します。

2 『選択』スイッチを4回押す。
※『時刻』『開始』『終了』『曜日』ランプが点灯し、現在曜日、現在時刻を表示します。

3 『確定』スイッチを押す。
※『曜日』ランプが点滅します。

曜日を変更する

4 『▼』または、『▲』スイッチを押す。
※『曜日』ランプが移動します。

5 『確定』スイッチを押す。
※“時間”表示が点滅します。

“時間”を変更する

6 『▼』または、『▲』スイッチを押す。
※『▼』スイッチ：“時間”が戻ります。
『▲』スイッチ：“時間”が進みます。

7 『確定』スイッチを押す。
※“分”表示が点滅します。

“分”を変更する

8 『▼』または、『▲』スイッチを押す。
※『▼』スイッチ：“分”が戻ります。
『▲』スイッチ：“分”が進みます。

9 『確定』スイッチを押す。

自動運転に戻す

10 『運転』スイッチを押す。

※設定を間違えた場合は、再度『時刻』ランプが点灯するまで『選択』スイッチを押してください。

つかいかた

自動運転のタイマー時刻設定のしかた

● 工場出荷時のタイマー時刻の初期設定は、以下のようになっています。
・タイマー設定時刻（月曜日〜土曜日）：6：30〜18：30（日曜日は、休日設定）
● タイマー時刻を変更する場合は、つぎの手順で設定してください。

設定可能な状態にする

1 『運転』スイッチを押し、運転を停止させる。
※『運転』ランプが消灯します。

2 『選択』スイッチを1回押す。
※『タイマー』、『日曜日』ランプが点灯します。

変更する曜日を選択する

3 『▼』または、『▲』スイッチを押す。
※『曜日』ランプが移動します。

4 『確定』スイッチを押す。
※『開始』ランプが点灯、“時間”表示が点滅します。

開始時刻の“時間”を変更する

5 『▼』または、『▲』スイッチを押す。
※『▼』“時間”が戻り、『▲』“時間”が進みます。

6 『確定』スイッチを押す。
※“分”表示が点滅します。

開始時刻の“分”を変更する

7 『▼』または、『▲』スイッチを押す。（5分刻み）

8 『確定』スイッチを押す。
※『終了』ランプが点灯、“時間”表示が点滅します。

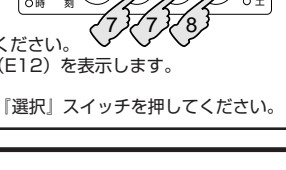
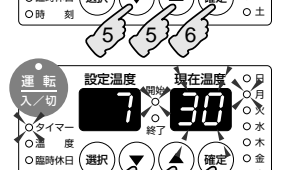
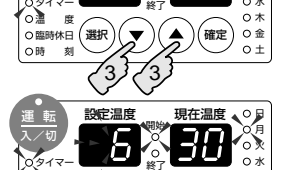
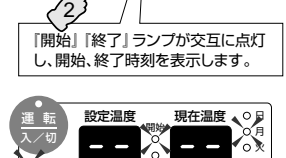
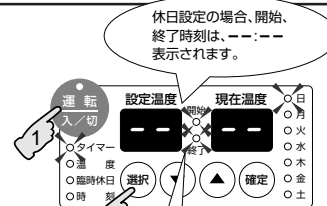
終了時刻の“時間”“分”を変更する

5 〜 8 の手順で終了時刻を変更する。

※最後に『確定』を押すとタイマー時刻設定が完了し、次の曜日に移行します。

自動運転に戻す

9 『運転』スイッチを押す。

※連続で設定したい場合は、時刻を0：00〜23：55に設定してください。
※開始時刻よりも終了時刻を早く設定した場合、チェックサイン（E12）を表示します。
その際は、再度設定してください。
※設定を間違えた場合は、再度『タイマー』ランプが点灯するまで『選択』スイッチを押してください。

自動運転の休日設定のしかた

● 工場出荷時は、日曜日が休日設定されています。(休日設定の日は、設定温度表示画面に『H』を表示)
● 休日設定を変更する場合は、つぎの手順で設定してください。

休日設定する場合は、タイマーの開始時刻と終了時刻を同一時刻に設定します。

設定可能な状態にする

1 『運転』スイッチを押し、運転を停止させる。
※『運転』ランプが消灯します。

2 『選択』スイッチを1回押す。
※『タイマー』、『日曜日』ランプが点灯します。

休日設定する曜日を選択する

3 『▼』または、『▲』スイッチを押す。
※『曜日』ランプが移動します。

4 『確定』スイッチを押す。
※『開始』ランプが点灯、"時間"表示が点滅します。

開始時刻と終了時刻を同一時刻に設定する

5 開始時刻を確認し、『確定』スイッチを2回押し、終了時刻を表示させる。
※"時間"表示が点滅します。

6 『▼』または、『▲』スイッチを押し、開始時刻の"時間"と同一にする。

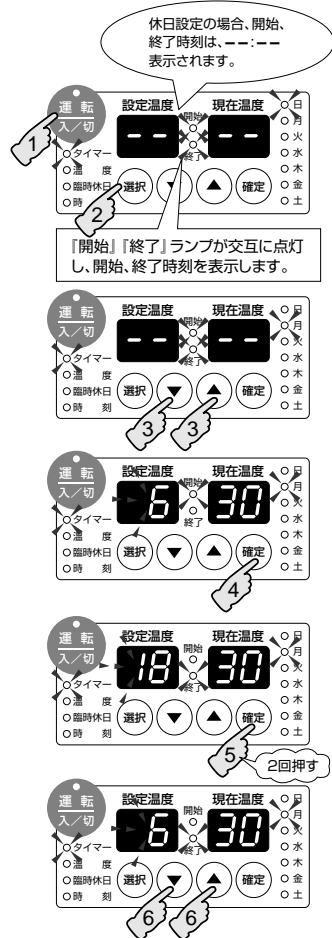
7 『確定』スイッチを1回押す。
※"分"表示が点滅します。

8 『▼』または、『▲』スイッチを押し、開始時刻の"分"と同一にする。

9 『確定』スイッチを1回押す。
※最後に『確定』を押すと 休日設定が完了 し、次の曜日に移行します。

自動運転に戻す

10 『運転』スイッチを押す。

※設定を間違えた場合は、再度『タイマー』ランプが点灯するまで『選択』スイッチを押してください。

自動運転の臨時休日設定のしかた

● 臨時で運転を休止したい日を設定できます。(臨時休日設定日は、設定内容表示画面に『SP』を表示)
但し、1週間以上停止させる場合は、電源プラグを抜いてください。
● 臨時休日を設定する場合は、つぎの手順で設定してください。

設定可能な状態にする

1 『運転』スイッチを押し、運転を停止させる。
※『運転』ランプが消灯します。

2 『選択』スイッチを3回押す。
※『臨時休日』ランプが点灯します。

3 『確定』スイッチを押す。
※『日曜日』ランプが点滅します。

臨時休日の曜日を選択する

4 『▲』スイッチを押す。
※『曜日』ランプが移動します。
※『▼』スイッチは、使用できません。

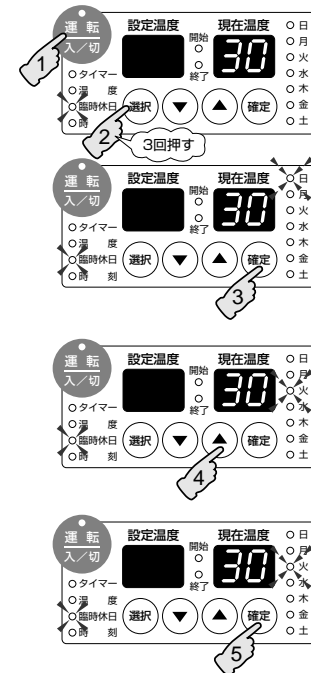
臨時休日の曜日を確定する

5 『確定』スイッチを押す。

※複数日設定する場合は、   4 、 5 を繰り返してください。

自動運転に戻す

6 『運転』スイッチを押す。

※設定を間違えた場合は、再度『臨時休日』ランプが点灯するまで『選択』スイッチを押してください。

ひとくちメモ

● 臨時休日設定は、設定した週のその曜日だけを休日設定にします。
毎週、同じ曜日を休日設定にしたい場合は16ページの方法で設定してください。

温度設定のしかた

● 工場出荷時の自動運転、再沸き上げ運転の設定温度は、98℃に設定されています。
● 設定温度を変更する場合は、つぎの手順で設定してください。

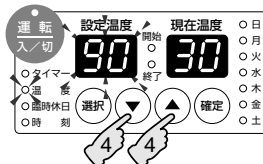
設定可能な状態にする

1 『運転』スイッチを押し、運転を停止させる。
※『運転』ランプが消灯します。

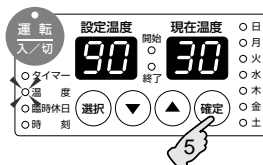
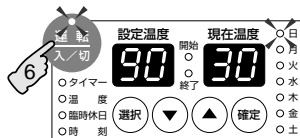
2 『選択』スイッチを2回押す。
※『温度』ランプが点灯し、設定温度と現在温度を表示します。

3 『確定』スイッチを押す。
※設定温度表示が点滅します。

設定温度を変更する

4 『▼』または、『▲』スイッチを押す。
※『▼』スイッチ：温度を下げる。
※『▲』スイッチ：温度を上げる。

設定温度の設定範囲は、60℃～98℃です。
(60℃～95℃までは5℃刻み、95℃の次は98℃のみ設定可能です)

設定温度を確定する

5 『確定』スイッチを押す。

自動運転に戻す

6 『運転』スイッチを押す。

※設定を間違えた場合は、再度『温度』ランプが点灯するまで『選択』スイッチを押してください。

おまかせ節電機能の設定のしかた

● 工場出荷時のおまかせ節電機能は、ONの状態に設定されています。
● おまかせ節電機能のON／OFFを設定する場合は、つぎの手順で設定してください。

設定可能な状態にする

1 『運転』スイッチを押し、運転を停止させる。
※『運転』ランプが消灯します。

2 『選択』スイッチを5回押す。
※『タイマー』、『温度』、『臨時休日』、『時刻』ランプが全て点灯します。(学習モード設定表示)
※設定画面におまかせ節電機能の状態を表示します。

おまかせ節電機能ON表示：AU On
おまかせ節電機能OFF表示：AU - -

3 『確定』スイッチを押す。
※設定画面の表示が点滅します。

設定を変更する

4 『▼』または、『▲』スイッチを押す。
※設定画面の表示が切替わります。

設定を確定する

5 『確定』スイッチを押す。

自動運転に戻す

6 『運転』スイッチを押す。

※設定を間違えた場合は、再度全ランプが点灯するまで『選択』スイッチを押してください。

ひとくちメモ

● おまかせ節電機能は湯を使用する時間をマイコンが自動的に記憶し、湯の沸き上げをコントロールしますのでムダな電気代を使わず非常に経済的です。また、よく使用する時間は、保温制御能力を上げることで、いつでも最適な湯をご使用いただけます。
（節電機能が作動するまで約10日間かかります）
● 省エネ節電中は、約80℃で保温しています。
● 省エネ節電中に高い温度の湯を使用する場合は、『再沸き上げ』スイッチを押してください。

節電中は、『省エネ節電中』ランプが点灯します。

自動お湯入替え（自動給排水）設定のしかた

● 自動お湯入替えを設定すると、運転開始前に自動的に湯の入替えを行います。
● 自動お湯入替え設定は、下記の設定モードがあります。

1	休日設定	自動運転の休日設定された翌日の運転開始前に湯の入替えを行います。
2	毎日設定	毎日、運転開始前に湯の入替えを行います。
3	設定なし	湯の入替えを行いません。

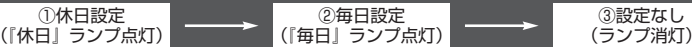
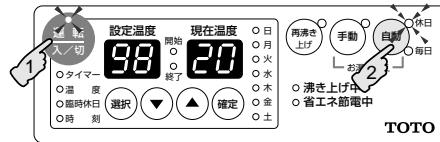
● 工場出荷時は、「休日設定」に設定されています。設定モードを変更する場合は、つぎの手順で行ってください。

自動運転をはじめる

1 『運転』スイッチを押す。
※『運転』ランプが点灯します。

設定モードを変更する

2 『自動』スイッチを押す。

※ 設定モードの変更は、『自動』スイッチを押すごとに以下のように変更されます。
①休日設定（『休日』ランプ点灯） → ②毎日設定（『毎日』ランプ点灯） → ③設定なし（ランプ消灯）

注）タンク内の温度が60℃以上の場合は、湯の入替えを行いません 。
注）自動お湯入替え開始後、しばらくしてオーバーフロー口より排水を開始します。
　　また給水を開始してもしばらくオーバーフロー口より排水が続きます。（約3分）
※自動湯入替え中は、『運転』ランプと『休日』ランプが点滅し、『CL』が表示されます。

手動お湯入替えのしかた

● スイッチ操作で自動的に湯の入替えを行います。

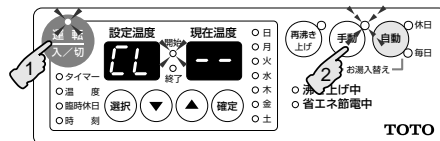
《注意》 現在温度表示が60℃以上の場合は、湯の入替えができません 。(EH表示)
『手動』スイッチを押す前に必ず現在温度表示が60℃未満であることを確認してください。
(60℃以上の場合は、水栓から湯を出してタンク内の温度を下げてください)

手動お湯入替えをはじめる

1 『運転』スイッチを押す。
※『運転』ランプが点灯します。

2 『手動』スイッチを押す。
※設定画面に『CL』が表示され、『手動』ランプが点滅します。
（湯の入替えは、約30分かかります。）

注）手動湯入替え開始後 、しばらくしてオーバーフロー口より排水を開始します。
　　また給水を開始しても、しばらくオーバーフロー口より排水が続きます。（約3分）

※途中で湯入替えを中止したい時は 、もう一度『手動』スイッチを押してください。

湯ぽっとのお手入れ

汚れがひどいときなど

湯ぽっと本体のお手入れ

通常は、水でぬらした柔らかい布をよくしぼってふいてください。
汚れがひどいときは、適量にうすめた家庭用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふきとった後、水ぶきを行ってください。

機器本体に水をかけない
（感電や火災の原因になります。）

—ご注意—
● 「酸性」・「アルカリ性」の表示のある洗剤およびたわし、クレンザーなどの使用は、本体を傷めますので絶対にやめてください。
● 本体はプラスチックでできていますので乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
傷つきの原因になります。

1回／3ヶ月

タンク内のお手入れ

長期間の使用でタンク内が水あかなどで汚れることがあります。**3ヶ月に1回**、タンク内の水を抜き給水、排水を繰り返し、清掃してください。（お手入れ方法は、P23参照）

1回／月

電源プラグのお手入れ

電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

お手入れの際は、電源プラグを抜いてください。

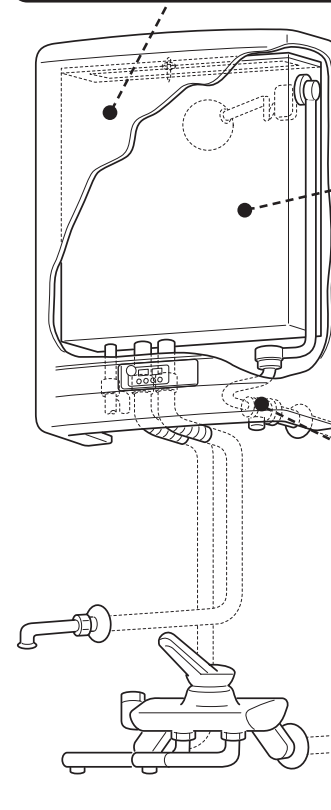
1回／月

フィルターのお手入れ

止水栓のフィルターが詰まるとタンク内への給水量が少なくなり、機器の故障の原因になります。**月に1回**、お手入れを行ってください。
（お手入れ方法は、P22参照）

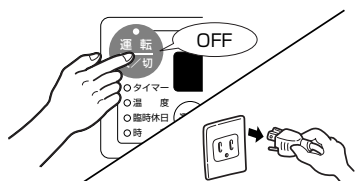
1回／日

水漏れ確認

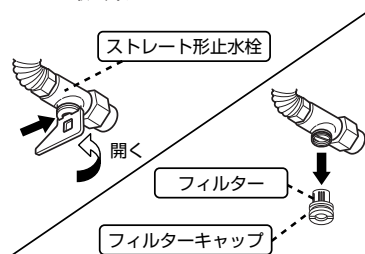
ご使用の際、電気温水器周辺に水漏れおよび水漏れの形跡がないことを確認してください。水漏れなどが確認された場合は止水栓を閉めて、お取付工事店または、TOTOメンテナンス（株）
TEL 0120−1010−05
FAX 0120−1010−02
までご連絡ください。

フィルターのお手入れ

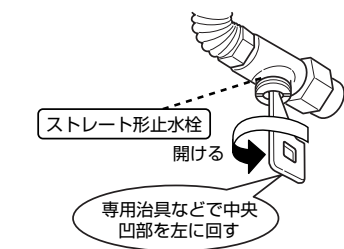
●フィルターが詰まるとタンク内への給水量が少なくなり、機器の故障の原因になります。
月に1回、つぎの手順でフィルターの掃除を行ってください。

●●● 清 掃 手 順 ●●●

1 『運転』スイッチを押して運転を止め電源プラグを抜く。

2 止水栓を閉める。

3 フィルターキャップを外し、フィルターを取り外す。

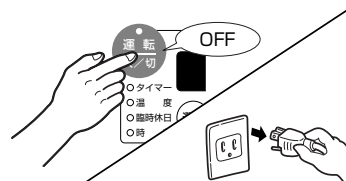
4 フィルターの網目に詰まったゴミをブラシなどで取り除く。

5 フィルターをフィルターキャップに差し込み、フィルターキャップを止水栓に取り付ける。

6 止水栓を開け、水漏れのないことを確認する。

お手入れについて

タンク内のお手入れ

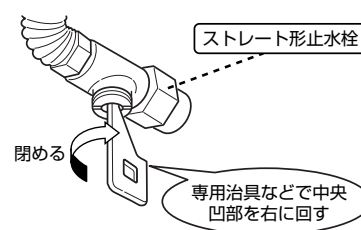
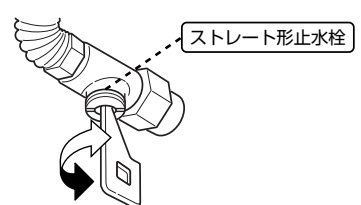
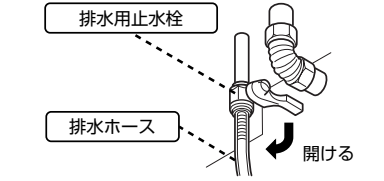
● 長期間の使用でタンク内が水あかなどで汚れることがあります。
3ヶ月に1回、タンクの水を抜き、給水、排水を繰り返し、清掃してください。

●●● 水抜き・清掃手順 ●●●

1 『運転』スイッチを押して運転を止め、電源プラグを抜く。

2 混合栓の湯側を開け、タンク内の湯を完全に出し切り、湯温が下がったことをご確認ください。

湯を出しはじめる時は、必ず水を出しながら湯を出す（湯だけを出すと、熱湯でやけどをしたり、シンクなどが破損するおそれがあります。）

3 止水栓を閉める。

4 排水用止水栓に付属の排水ホースを取り付け、排水用止水栓を開けてタンク内の水を抜く。

5 水抜き後、止水栓を開／閉し、給水排水を繰り返してタンク内を清掃してください。

6 清掃完了後、排水用止水栓及び止水栓を閉め、排水ホースを取り外す。

7 止水栓を開け、タンク内へ給水し、水漏れのないことを確認する。

お手入れについて

凍結による破損防止について

● 凍結のおそれがある場合は、つぎのどちらかの方法で機器の凍結予防の処置を行ってください。

●●● 連続運転による方法 ●●●

● 自動運転のタイマー時刻を下記の時刻に設定し、連続運転を行ってください。

1 開始時刻を0：00に設定する。

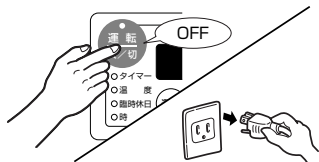
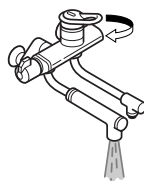
2 終了時刻を23：55に設定する。

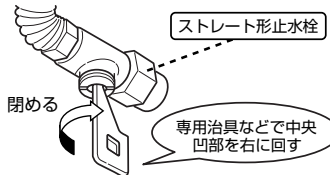
注）終了時刻は、0：00に設定できません。

※数日間連続運転する場合は、曜日毎にタイマー時刻を0：00～23：55に設定してください。
※タイマー時刻の設定手順は、P15を参照してください。

●●● 水抜きによる方法 ●●●

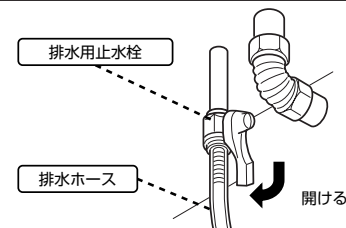
● 次の手順で水抜きを行ってください。

1 『運転』スイッチを押して運転を止め電源プラグを抜く。

2 混合栓の湯側を開け、タンク内の湯を完全に出し切る。

※混合栓から出る湯が水になっていることを確認してください。

湯を出しはじめる時は、必ず水を出しながら湯を出す（湯だけを出すと、熱湯でやけどをしたり、シンクなどが破損するおそれがあります）

3 止水栓を閉める。

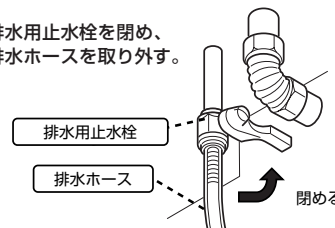
4 混合栓の水抜き栓を開け、混合栓内の水を抜く。
（混合栓を取り付けている場合のみ）

※混合栓の水抜き方法は、混合栓の「取扱説明書」を参照ください。

5 排水用止水栓に付属の排水ホースを取り付け、排水用止水栓を開けてタンク内の水を抜く。

●●● 水抜き後の処置 ●●●

● 水抜き後、つぎの手順で処置を行ってください。

1 排水用止水栓を閉め、排水ホースを取り外す。

2 混合栓の水抜栓を閉める。
（混合栓を取り付けている場合のみ）

停電後の対応について

● タイマーには、設定内容を記憶するために電池が内蔵されています。
停電後、タイマー表示部の現在曜日、現在時刻をご確認ください。

●●● 現在曜日、現在時刻が正しい場合 ●●●

● そのままご利用いただけます。

●●● 現在曜日、現在時刻が合っていない場合 ●●●

● つぎの手順で設定を行ってください。

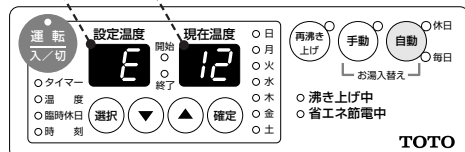
1 現在曜日、現在時刻を設定してください。
（P.14参照）

2 タイマー設定は初期設定に戻っております。再度、タイマーを設定してください。
（P.15～17参照）

チェックサインについて

● コントローラに故障・異常内容が表示されます。ご使用中にチェックサインが表示された場合は、表示記号をお確かめの上、下記の方法により処置してください。

チェックサインを表示します。

チェックサインの表示と同時にブザーで故障・異常をお知らせします。ブザー音を解除する場合は、コントローラのいずれかのスイッチを押してください。

■ チェックサイン一覧表

チェックサイン表示	故障・異常内容	処置、お調べいただきたいこと
E：1	異常沸とう	器具の診断が必要です。 チェックサインの表示記号をご確認の上、 TOTOメンテナンス(株) TEL 0120-1010-05 FAX 0120-1010-02 にご連絡ください。 注）凍結のおそれがある場合は、機器の水抜き（P24参照）を行ってください。
E：2	温度センサー1断線	
E：3	温度センサー1短絡	
E：5	スイッチ故障	
E：6	温度センサー2断線	
E：7	温度センサー2短絡	
E：13	時計異常	
E：4	異常低水位	止水栓が閉まっていませんか？ 止水栓を全開にしてタンク内へ給水してください。（P10参照）
E：11	基板内蔵電池切れ	現在時刻を設定してください。何度も表示される場合は、TOTOメンテナンス(株)に連絡してください。
E：12	タイマー誤設定	タイマー時刻の終了時刻が開始時刻より早く設定されています。 タイマー時刻を再設定してください。
E：H	給排水異常	タンク内の湯温が60℃以上のため、手動お湯入替えが正常に行われていません。タンク内の湯温を下げてください。（P20参照）

■ つぎのような表示は、故障・異常では、ありません。

表　示	表　示　内　容
--：温度表示	自動運転中のタイマーOFF時間帯の表示です。
H：温度表示	休日設定日の表示です。（P16参照）
SP：温度表示	臨時休日設定日の表示です。（P17参照）
CL：--	自動給排水中（湯の入替え中 ）の表示です。（P20参照）
AU：On	おまかせ節電機能の設定表示です。（P19参照）
AU：--	

故障かな？と思ったら

現　象	確　認　項　目	処　置　方　法
湯が沸かない 湯にならない	電源プラグが完全に差し込まれていますか？	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	元電源が入っていますか？	停電していないことを確認し、元電源を入れてください。
	運転スイッチが入っていますか？	『運転』スイッチを入れてください。
	湯温をご希望の温度に設定していますか？	コントローラにて希望の温度に設定してください。（P18参照）
	タイマーの設定が運転時間帯になっていますか？（設定温度表示が「--」、「H」、「SP」になっていませんか?）	タイマーで運転時間帯の設定または、変更をしてください。（P15参照）
	曜日、時刻は合っていますか？	時刻を設定してください。（P14参照）
湯がでない 湯量が少ない	止水栓が完全に開いていますか？	止水栓を開けてください。
	止水栓のフィルターにゴミが詰まっていませんか?	止水栓のフィルターの掃除を行ってください。（P22参照）
	断水していませんか？	断水していないことを確認してください。
	自動もしくは手動給排水中（CL表示）ではありませんか？	自動もしくは手動給排水中（CL表示）は、湯が出ないことがあります。（P20参照） 湯入替え完了までお待ちください。
湯が沸とうする	高地で使用していませんか？（沸点が低いために沸とう状態になっている）	湯温の設定を下げてください。 （90℃設定にしてください） ※標高1500mで沸点93℃
湯が汚れている	タンク内の清掃を行っていますか？	タンク内を清掃してください。（P23参照）
満水なのに 異常低水位（E4） 表示される	水質は上水ですか？	純水（イオン交換水など）では水の有無を検知できません。
水漏れしている	配管接続部からの水漏れですか？	水漏れ箇所を締め直してください。それでも水漏れする場合はお取付工事店または、 TOTOメンテナンス（株） TEL 0120-1010-05 FAX 0120-1010-02 に相談してください。
湯が臭う	甘ずっぱい配管用接着剤のような臭いですか？	配管用の接着剤の臭いと思われます。 通水を繰り返すことにより、徐々に解消されます。

故障かな？

つぎのような場合は故障ではありません

現　　象	理　　由
連続して使用するとぬるい湯しかでない	連続して湯を使うと、湯がぬるくなります。 本製品は、タンクに貯めた湯を使用するため、連続して使用された場合は、沸き上げに時間がかかります。
冬場に使用するとなかなか湯が沸かない	冬場は、水温が低いため、湯温の低下が著しくなりますので沸かし上げに時間がかかります。
時どき本体からカチッという音がする。	ヒーター通電をON／OFFさせる音です。
使用時、本体から異音がする。	沸き上がる音やボールタップの止水時の水切音です。
オーバーフロー口（排水金具）から蒸気がでる。	タンク内の蒸気が､オーバーフロー口から逃げているためです。
手動お湯入替えスイッチを押してもコントローラに「EH」が表示されお湯入替えができない。（自動給排水機能付きのみ）	安全のためタンク内の湯温が60℃以上の場合は排水しません。 手動お湯入替えの方法は、20ページを参照ください。
自動お湯入替え時及び手動湯入替え時にすぐに排水されない。（自動給排水機能付きのみ）	排水弁の動作にしばらく時間がかかるためです。
手動お湯入替えを途中で中止した時に本体から音がする。（自動給排水機能付きのみ）	給水圧が高い場合、給水弁を閉じる時に音がするためです。
タイマーOFF時間帯に『運転』スイッチを押すと沸き上げを開始する	『運転』スイッチの入力が優先されるためです。つぎの日（午前0時）からタイマーの設定時刻通り運転を行います。

アフターサービス

点検・修理を依頼される前に「故障かな？」を見て、もう一度ご確認ください。

保証書（この説明書のP.31が保証書になっています）

●この商品は保証書の内容に従って保証されています。取付日、取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
●保証期間は保証書をご確認ください。

保証について

●**保証期間中は**
保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼付ラベルなどの注意書きにしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。
●**保証期間中を過ぎているときは**
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
→「修理を依頼されるときは」「修理料金のしくみについて」（下記）をご確認ください。

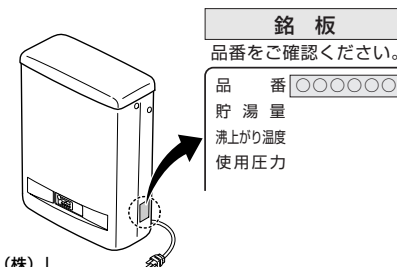
部品の交換について

無料修理により交換された交換前の部品・商品はTOTO（株）の所有となります。

補修用性能部品の供給期間

この商品の補修用性能部品（機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えての必要が発生する可能性の大きいもの）の供給期間は製造中止後7年です。

修理を依頼されるときは

【修理依頼先】
お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス（株）
【ご連絡いただきたい内容】
①住所、氏名、電話番号　②商品名
③品番　④取付店
⑤故障内容、異常の状況（どこから水漏れしているかなど）
⑥訪問希望日
【お客様の個人情報のお取り扱い】
お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切にお取り扱いします。
詳細はTOTOホームページ（http://www.toto.co.jp/）をご覧ください。
【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】
「TOTO（株）お客様相談室」または　「TOTOメンテナンス（株）」

修理料金のしくみについて

修理料金は 技術料 ＋ 部品代 ＋ 訪問料金 で構成されています。
技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品代です。
訪問料金 は、製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

仕様一覧表

機種		RED12A1CN RED12A1D	RED12A2CN RED12A2D	RED20B1CN RED20B1D	RED20C2CN RED20C2D	RED30B1CN RED30B1D	RED30C2CN RED30C2D
定格	電圧	単相 100V	単相 200V	単相 100V	単相 200V	単相 100V	単相 200V
	周波数	50Hz/60Hz					
	消費電力	1.1kW		1.5kW	2.0kW	1.5kW	2.0kW
	貯湯量	約12L		約20L		約30L	
沸上がり温度		約60℃～98℃					
沸き上がり時間 (入水温15℃→98℃)		68分		83分	62分	124分	93分
給水方式		ボールタップ方式					
自動給排水機能		※給水弁・排水弁の開閉による自動制御					
使用水圧		0.05～0.75MPa					
使用可能雰囲気温度		0～40℃					
製品寸法 (幅×奥行×高さ)		551mm×190mm×519mm		551mm×190mm×632mm		551mm×190mm×772mm	
満水質量		約25kg（※約27kg）		約36kg（※約38kg）		約49kg（※約51kg）	
電源コード長さ		1.0m					
主要部品	ヒーター	シーズヒーター					
	給水方式	ボールタップ					
	操作部	ウィークリータイマー（停電保証機能及びおまかせ節電機能付き）					
	自動温度調節器	サーミスターによる湯温検知					
	水位センサー	水位電極式（チタン線白金メッキ付き）					
	自動給排水バルブ	※給水側：電磁弁(通電時閉) ※排水側：熱動弁(通電時開)					
安全装置	低水位遮断回路	水位センサー					
	空焚防止器	温度過昇防止器（手動復帰式バイメタル）					
	過電流防止器	ヒューズ					
	アース	電源プラグアース付き					

※自動給排水機能付き（RED＊＊＊＊D）のみ

●メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年　月　日	電話（　　）

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お取付日から下記保証期間中に故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、お取付工事店・販売店またはTOTOメンテナンス（株）（フリーダイヤル TEL 0120－1010－05・FAX 0120－1010－02）に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ	様
	おところ 〒	
お取付工事店名	〒　TEL	㊞
お取付日	年　月　日	
品番		

保証対象機種品番	湯ぽっとREDシリーズ RED12型 RED20型 RED30型
保証期間	お取付日から1ヵ年

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときに、品番、お取付年月日、お取付工事店名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体張付ラベルなどの注意書にしたがって正常な状態で保証期間内に故障した場合には、保証期間無料修理いたします。
2. 保証期間内に損傷して無料修理を受ける場合は、お取付工事店・販売店またはTOTOメンテナンス（株）にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお取付店にご相談ください。
4. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお取付店に修理がご依頼できない場合には、TOTOメンテナンス（株）にご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 保証書による補償範囲は機能部およびその付属品のみで、排水配管類は含みません。
7. 保証期間内でもつぎの場合には有料修理となります。
   （1）一般的な洗面器以外（例えば業務用での使用または車両・船舶への搭載など）で使用した場合の不具合。
   （2）空焚きなど、お客様が取扱説明書に記載された手順や注意を守らなかったことによる不具合や、お手入れを行わなかったことによる不具合。
   （3）メーカーが定める工事説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・修理・改造などに起因する不具合。
   （4）建築躯体の変化などに起因する不具合、また塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
   （5）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
   （6）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
   （7）火災・爆発など事故、落雷・地震・噴火・風水害・津波など天変地異、凍結、または戦争・暴動など破壊行為による不具合。
   （8）日常のお手入れ箇所（水抜栓やフィルターなど）のOリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
   （9）乾電池・コマパッキンなどの消耗による不具合。
   （10）電気・給水の供給トラブルなどに起因する不具合。
   （11）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いに起因する不具合。
   （12）給水・給湯配管の錆や砂・ゴミなど異物流入に起因する不具合。
   （13）温泉水、井戸水などの水道水以外の水を供給したことに起因する不具合。
   （14）輸送・搬入・移動などの落下や転倒、接触などに起因する不具合。
   （15）本書の提示がない場合。
   （16）本書にお客様名、お取付店名、お取付日の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
8. 部品の交換について　無料修理により交換された部品・製品はTOTO（株）の所有となります。
9. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保存してください。

サービス記録

年月日	サービス内容	担当者

※この保証書は本書に明示した保証期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱説明書裏表紙に記載のTOTOフリーダイヤルまでお問合わせください。

TOTO株式会社
〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
お客様相談室 TEL 0120(03)1010